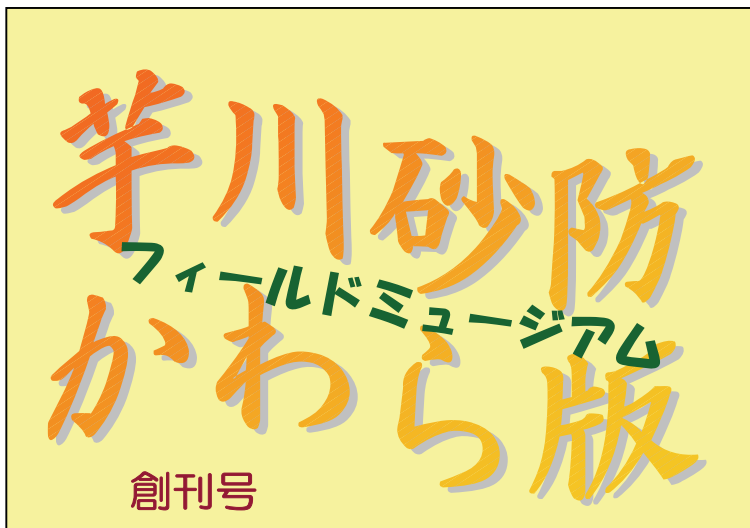


新潟県中越地震により大規模土砂災害が発生した芋川流域での貴重な経験を将来につなぐ活動に関わる情報を掲載しています。



## 芋川を砂防のフィールドミュージアムに！

平成16年の新潟県中越地震から7年が過ぎました。この地震は山崩れと河道閉塞という中山間地での典型的な災害を引き起こし、防災対策にとって貴重な経験をもたらすことになりました。その経験は中越地方だけでなく、山国である日本全体でこれからの防災や地域づくりに活かすことが必要です。

そこで、平成21年度から芋川流域を砂防のフィールドミュージアムにすることについて、周辺にお住まいの皆様にご協力いただいた砂防施設の活用に関するアンケートや、全国各地での取り組み事例などを参考に、湯沢砂防事務所が中心となって検討を進めてきましたが、平成21・22年度の2ヶ年の会議によって、行政・地域・中越大震災メモリアル整備関係者が連携する実行委員会が立ち上がりました。

中越地震の被災経験と教訓、短期で復旧させた砂防技術、復興過程で注がれた人の思いや連携の力などを継承し、それらを活かして地域の防災力を高め、地域の魅力とともに上流域・中流域を守る砂防の意味を発信することによって交流を促進し、全国の中山間地の復興と今後の地震対応に寄与することを目的としています。

### <芋川砂防フィールドミュージアムづくりでめざすこと>

「地域防災力向上」＝「絆を活かした地域ぐるみの防災」

地形条件や高齢化など困難な環境の中で、地域の絆を活かして自助・共助の意識を高める。

「地域活性化」＝「自然のめぐみと砂防施設を活かした地域振興」

独特の自然と文化に砂防という新たな地域資源を加えて、被災地の地域振興に寄与する。

「全国の地震対応への寄与」＝「住民の想いと砂防技術の継承・発信」

大規模災害から短期で復旧させた砂防の技術力と住民の想いを将来につなぐ。



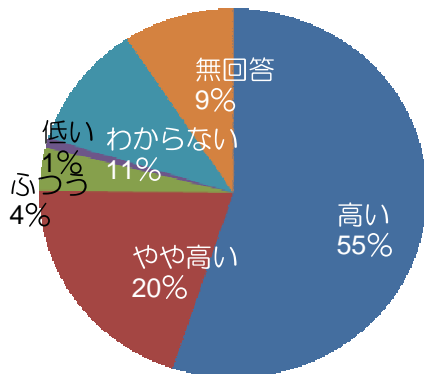
平成22年度地域連絡会の様子  
長岡市山古志支所にて

## 地域のみなさんの意識

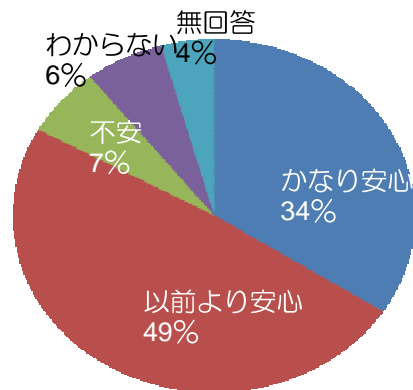
◆平成21年度に行ったアンケート

対象：芋川流域にかかる長岡市山古志・小千谷市・魚沼市の493戸中、280戸から回答いただきました。

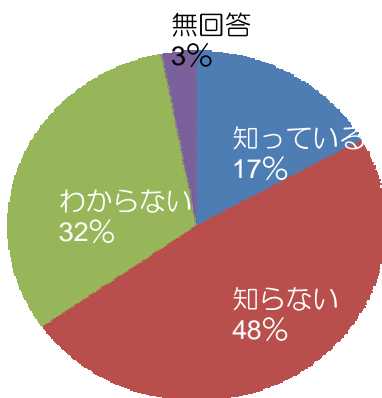
災害復旧砂防工事の  
全体的な評価は？



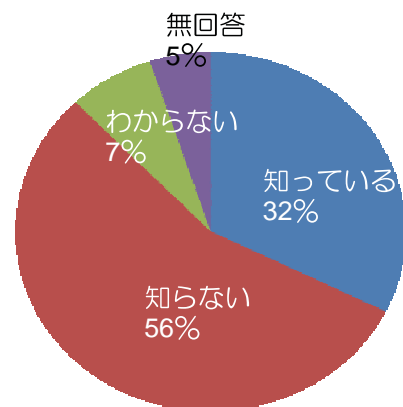
現在の土砂災害に対する安心感は？



土砂災害の前兆現象(前ぶれ)を  
知っていますか？



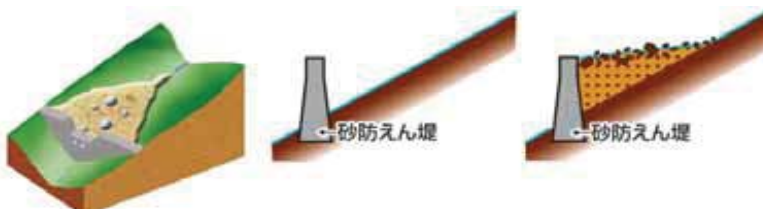
地震前、地域で起こる可能性がある  
災害を知っていましたか？



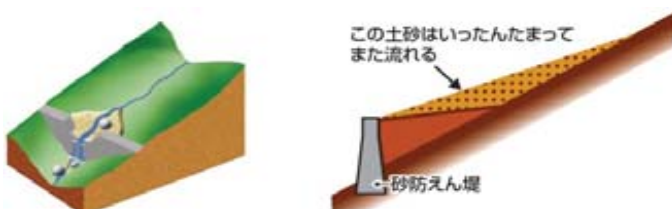
## 砂防施設の“はてな？” その1 砂防えん堤のはたらき

砂防施設として一番多い砂防堰堤。設置する場所によって、ねらいとするはたらきが違います。

土石流を止める働き 発生前 土砂を受け止めたところ



流れる土砂を調節する働き 大水が出たときいったん土砂をため、その後少しずつ下流へ流す。



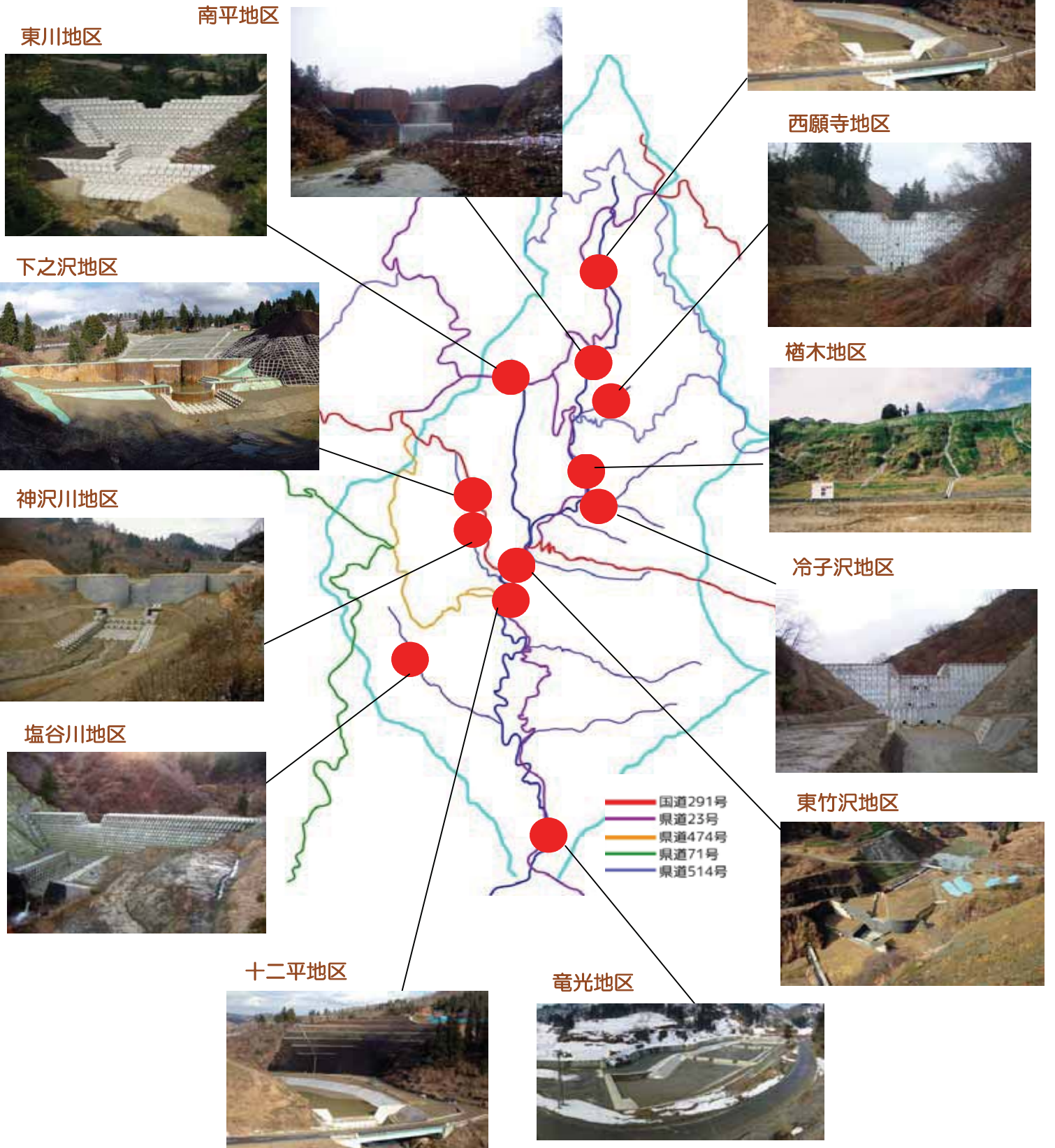
地すべりが動くのを防ぐ働き 土砂をためることによって山裾の土砂を安定させ、地すべりの進行を防ぐ。



# 砂防施設の“はてな？” その2どこにどんな砂防施設があるの？

◆砂防施設はここにあります

地域の皆さんが目にしていく順番は、コンクリート砂防えん堤・集水井（8割以上）、次いでダブルウォール、セル型、法枠工、ブロックえん堤、水抜工（4割弱）の順でした。  
（平成21年度に行ったアンケートより）



## 他地域の砂防フィールドミュージアム紹介

### 万内川砂防公園



新潟県妙高市に位置する万内川・日影沢の砂防堰堤群は大正10年(1921年)に新潟県初の砂防堰堤として工事が始まり、『新潟県砂防発祥の地』とされています。

明治の「山のげ」をはじめとする幾多の土砂災害と闘ってきた村民の熱い願いがこめられた砂防施設は、平成16年7月に国の有形文化財に登録されました。

平成16年から新潟県妙高砂防事務所が開催している万内川砂防公園サマーフェスティバルに協力してきたメンバーが、平成18年に「万内川砂防公園ファン倶楽部」を立ち上げ、歴史的砂防施設を核として地域の農業や観光資源などを有機的に結びつけた地域活性化を進めています。

### 駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム

長野県得天竜川支流大田切川は昔から何度も土石流が発生して地域を苦しめていました。砂防事業を行っている国土交通省天竜川上流河川事務所が中心となって平成21年「砂防フィールドミュージアム」をオープンしました。

駒ヶ根高原一帯の砂防施設や巨石を“展示物”と見なし、体験学習に役立てるもので、駒ヶ根市や上伊那郡宮田村などとともに作る協議会が、地域の成り立ちを楽しく学ぶため施設や巨石を地図に落とししたガイドマップを作り、現地に説明看板を設置しました。体験学習コースを巡るツアーも始めています。

ガイド役は『駒ヶ根観光ボランティアガイドの会』の有志が当たっていますが、将来は手軽に回れるコースも検討し、意欲ある市民を募るなどして20~30人規模に増やすこととしています。



### アカタン砂防エコミュージアム



福井県九頭竜川上流部に位置する田倉川流域では、明治28年に豪雨による大災害が発生しました。田倉川支流赤谷川(アカタン)では、災害から5年を経て砂防工事が始まり、地域復旧のために地元老若男女が力を合わせて働いて多くの石積み砂防堰堤や土堰堤を築きました。

その後埋もれていた砂防施設を地元有志と都市住民から成る「田倉川と暮らしの会」が調査発掘して整備を行い、平成16年には文化財登録しました。

それを契機に会は「アカタンエコミュージアム」を作り上げ、リトリートたくらをコア施設としてガイドや情報発信を行っています。

また、NPO法人福井県砂防ボランティア協会が参画する『アカタン砂防歴史遺産活用促進協議会』が意識啓発と地域活性化に取り組み、現地の定期的な草刈り・遊歩道のチップまきなどの維持管理にも努めています。

◆ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せください◆



国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所  
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立23  
湯沢砂防事務所 流域対策課 Tel : 025-784-2926  
破間川出張所 Tel : 025-792-1105